

2013年 SC 11パリ総会報告

1. 概況

期間 2013年6月3日（月曜日）より同月6日（木曜日）

会場 Orange rive droite（フランス・テレコム社、パリ凱旋門南部に位置した）

2. 主な内容（詳しくは別紙参照のこと）

WG8及びWG9によって進められているISO 30300 MSR（Management System for Records）シリーズについては、MSS/JTCGへの代表派遣及び白書作成がすすめられ、30302 - MSRの実施ガイドラインについてはCD投票の予定が決められた。30303及び30304については作業延期となっている。

WG11により準備が進められてきたISO/DTR 18128 情報及びドキュメンテーション - 記録のプロセスとシステムのためのリスク評価 は、DTR投票のために2013年8月までに作業を完了することとした。

WG13で進めてきたISO 15489 情報及びドキュメンテーション - 記録管理 - 定期見直しについては、先ず第一部：総説に着手し、2014年2月はじめに、ISO/CD 15489-1 情報及びドキュメンテーション - 記録管理 - 第一部：総説の投票を行うこととした。

コーディネーション・グループは、ウェブベース技術特別グループ解散、ISO 23081-1:2006 インフォメーション及びドキュメンテーション - 記録管理プロセス - 記録のためのメタデータ - 第一部：総説の正誤表発行、同規格定期見直し日の繰り上げ、ISO/TC 10 製品技術文書情報等とのリエゾン中止、ISO/TC 176/SC1 概念及び用語とのリエゾン締結、WG12解散、並びに、複数の臨時グループ及び言語検証グループの結成等を決議した。 以上。

<別紙>

第29回ISO/TC 46/SC 11「アーカイブズ/記録管理」総会 決議録

2013年6月3-7日 パリ（フランス共和国）

* ISO/TC 46/SC 11 N1372による

WG08 記録マネジメントシステム - 基本と用語 及び WG09 記録マネジメントシステム - 要求事項

決議 1/2013-06

ISO/TC 46/SC 11は、Judith Ellis 及び Carlota Bustelo がMSSのJTCGに関し、ISO/TC 46/SC 11 の代表を続けることを決議する。 **全会一致承認。**

決議 2/2013-06

ISO/TC 46/SC 11は、原案作成チーム：コーディネータたるCharlotte Maday（フランス）ほか5名が、SC 11の一般向けウェブサイトで使えるようにするため、1月末までに、ISO 30300シリーズと他のMSSの関係についての白書を作成することを決議する。 **全会一致承認。**

決議 3/2013-06

ISO/TC 46/SC 11は、WG8 及び WG9が2013年10月15日までに、CD投票に付するため、ISO 30302 - *MSRの実施ガイドライン* 原案作成を終了させることを決議する。これは次のように行われる。

a) 編集グループ (Judith Ellis (オーストラリア) ほか3名による) は、現在のISO/NP 30302作業原案に関して出された総てのコメントを解決し、2013年8月31日までに改訂した作業原案をWG8 及び WG9に配布する。

B) WG 8 及び WG 9のメンバーは、2013年9月15日までに、編集グループに対して、何らかの実質的な修正や提案を添えて回答する。

C) その原案は、2013年10月15日までに、CD投票のため発行するものとする。

全会一致承認。

決議 4/2013-06

ISO/TC 46/SC 11は、WG 8 及び WG 9編集チームが、ISO/CD 30302 *MSRの実施ガイドライン*投票からえたコメントを (可能な部分は) 解決した上、改訂案と解決されたコメントをWG 8 及び WG 9に対して、2014年3月1日までに配布する。2014年5月にワシントンで開催される総会において、討議し、未解決コメントを解決する。

全会一致承認。

決議 5/2013-06

ISO/TC 46/SC 11は、ISO 30303 - *MSR - 監査・認証機構の要求事項及び* ISO 30304 - *MSR - 自己評価ガイド* に関するさらなる作業を延期することを決議する。**全会一致承認。**

決議 6/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、WG 8・WG 9合同会議を、2014年5月のワシントン総会の一部として開催することを決議する。**全会一致承認。**

WG10 - 記録ディスポジションの実施指針

決議 7/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、WG 10 が標準報告書ISO/DTR 18800 -情報及びドキュメンテーション - *記録ディスポジションの実施指針* の開発を打ち切り、その代わりに、SC 11の一般向けウェブサイトで自由に使うことができる白書を、2014年5月のISO/TC 46/SC 11ワシントン総会以前に、WGが公表するよう、作業を進めることを決議する。**全会一致承認。**

WG11 記録システムのリスク評価

決議 8/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、第二次 DTR 18128 *情報及びドキュメンテーション - 記録のプロセスとシステムのためのリスク評価* のコメント説明を終結させ、2013年8月末日までに出版原稿を提出する前に、最終評価報告書をWG 11に送付する作業委員会を次の者に命じる。Anne Picot (オーストラリア) ほか7名。**全会一致承認。**

決議 9/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、事務局に対し、ISO/DTR 18128 情報及びドキュメンテーション - 記録のプロセスとシステムのためのリスク評価 改訂原稿を出版するため、2013年8月末日までに、ISO中央事務局に提出することを要請する。 **全会一致承認。**

決議 10/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、ISO/DTR 18128 情報及びドキュメンテーション - 記録のプロセスとシステムのためのリスク評価 の開発におけるWG11専門家の尽力に感謝する。 **全会一致承認。**

WG13 ISO 15489-1 及び ISO/TR 15489-2の改訂

決議 11/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、ワーキング・グループ13が、その編集委員会に、ISO/CD 15489-1 情報及びドキュメンテーション - 記録管理 - 第一部: 総説 の第一次作業案の回覧によって得られたコメントを、パリ総会WG13会議で得られた議論と方向にそって解決させ、それを2013年6月末日までに同WGに提出させることを、決議する。 **全会一致承認。**

決議 12/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、編集委員会が、解決したコメント（決議11を見よ）を組み込んだISO/CD 15489-1第二次案を、2013年10月にWG13に回覧することを目指して作業をすすめることを決議する。コメントはその二ヶ月後よりも遅れないよう回収すること。 **全会一致承認。**

決議 13/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、ワーキング・グループ13が、第二次CD案に関するコメントを解決するため、2014年1月に会議を開催することを決議する。 **全会一致承認。**

決議 14/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、WG13が、SC 11に対して、修正を終えたISO/CD 15489-1委員会原案を、2014年5月のワシントン総会での検討に間に合うよう、2014年2月はじめに二ヶ月間投票を実施するように要請することを、決議する。 **全会一致承認。**

決議 15/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、WG13が、SC 11に対して、その総ての規格類が一般的な参照を自由に行えるように、図表示を作成する専門家の選任を要請することを決議する。 **全会一致承認。**

コーディネーション・グループ

決議 16/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、準備計画の前進がないことから、ウェブベース技術に関する特

別グループを解散し、プロジェクト開発を中止することを決議する。**全会一致承認。**

決議 17/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、ISOに対し、ISO 23081-1:2006 インフォメーション及びドキュメンテーション - 記録管理プロセス - 記録のためのメタデータ - 第一部: 総説 箇条5.1 a)に、次のフランス語及び英語の修正を付した正誤表を発行することを要請する。すなわち、“Metadata support business and records management processes by protecting records as evidence of business activities and ensuring their accessibility and usability through time” の文章に、《 of business activities 》を加える。その理由は、《 evidence 》という語の法律上の用法に反することなく、この規格を使えるようにすることにある。**全会一致承認。**

決議 18/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、事務局がISOに対し、ISO 23081-1:2009 インフォメーション及びドキュメンテーション - 記録のためのメタデータ管理 - 第二部: 考え方と実施の定期見直し開始日を、2014年4月15日から2013年末に移すよう要請することを、決議する。**全会一致承認。**

決議 19/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、事務局に、2014年5月、アメリカ合衆国、ワシントン DCにおいてWG1会議を開催するよう要請することを、決議する。**全会一致承認。**

決議 20/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、事務局が、ISO/TC 10 製品技術文書情報 (Technical product documentation) 及び ISO/TC 10/SC 8 建築製図 (Construction documentation) の事務局に連絡を取り、ISO/TC 46/SC 11とのリエゾン関係を中止する提案をするよう要請することを決議する。**全会一致承認。**

決議 21/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、事務局に、ISO/TC 176/SC 1 概念及び用語 (Concepts and terminology) 分科会とリエゾン関係を結ぶように要請することを決議する。リエゾン担当者は、Ms Carlota Bustelo (AENOR) (ISO/TC 46/SC 11/WG 9コンビーナ) 及び Agnes Simai (ISO/TC 46/SC 11 事務局)。**全会一致承認。**

決議 22/2013-06

ISO/TC46/SC 11 は、Trish O' Kaneを代表者とする特別グループを結成し、エンタープライズ・アーキテクチャにかかわる記録管理を研究して準備的なNWIPについて見極めるとともに、2014年5月のISO/TC 46/SC 11総会で議論するため、2月末までに原案を用意することを決議する。メンバーには、企業設計思想家と協力関係にある記録管理専門家が招集されることになる。**全会一致承認。**

決議 23/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、事務局に、WG12 Digital records conversion and migration process ワーキング・グループを解散するよう要請することを決議する。**全会一致承認。**

認。

決議 24/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、新しい臨時グループ(“分散型のプラットフォーム及びサービス (*Records in distributed platforms and services*)”)を、“分散型、及び/又は外部委託型のプラットフォーム及びサービスを取り巻く準備的なNWIPを開発するために”という考え方に基づいて結成することを決議する。この臨時グループは、リーダー Lucas Colet(Luxemburg)、ほか7名により構成する。**全会一致承認**。

決議 25/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、臨時グループ(リーダー Charlotte Maday (フランス)、ほか5名)を結成し、SC 11の標準に一般的な概念のリストを作成した後、比較分析をおこなって、その結果を図に示すことを決議する。その結果は、標準に一貫性をもたらすSC 11内部のツール、また、SC 11規格類の販売促進物の両方として役立つこととなる。**全会一致承認**。

決議 26/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、臨時グループ(リーダー Michel Cottin (フランス)、ほか8名)を結成し、オープン・データにかかわる記録管理責任に関し、準備的なNWIPを見極めるために研究を進めるととともに、2014年5月にワシントンで開催されるSC 11総会で議論できるように、2014年2月末までに提案を用意することを決議する。**全会一致承認**。

決議 27/2013-06

ISO/TC 46/SC 11 は、言語検証グループをコーディネーション・グループの中に結成し、SC 11により産み出された総ての資料における一貫性を確実なものとすることを決議する。このグループは、新しい資料を追加するものではなく、むしろCDまたはDTR段階となる前にあらゆるドキュメントに関する言語の一貫性、文脈及び意味について最終確認をおこなう。このグループは、Barbara Reed (オーストラリア)、ほか3名によって構成される。**全会一致承認**。

決議 28/2013-06

<感謝>

ISO/TC 46/SC 11 は、AFNOR, フランス標準協会が暖かくもてなし、会議を開催したこと、また、フランス・テレコム - オランジェがパリの中心で2013年総会を主催してくれたことに対し、感謝いたします。

特に、AFNORの次の皆様に感謝の意を表します。

- ・ M. Alain Costes、ほか4名。

フランス・テレコム-オランジェの次の担当者には、特に感謝いたします。

- ・ M. Michel Cottin、ほか4名。

次の方には特にお礼を申し上げます。

- ・ Sylvie Dessolin-Baumann、ほか1名。

誠意をもって見学会を開催して下さった National Archives of France、また次の共催者によるカクテルパーティに関しては、National Archives, AAF 及び SNCFに対して、特に感謝の意を表します。その共催者は次の通りです。

- ・ French Ministry of Culture and Communication
- ・ French Ministry of Higher Education and Research
- ・ French National Library, EBD, AAF, ADBS, OCLC, PMB, Locarchives, EMC and National Archives of France, SNCF [for SC 11 special social event at the French Archives]

ISO/TC 46 Information and documentation議長:

- ・ Mme Françoise Pelle.

French National Committee CN 46議長:

- ・ M. Pierre Fuzeau, Chair of CN 46 (French National Committee).

全会一致承認。

以上。